

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひっぼファミリー		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 10日		2025年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2025年 1月 10日		2025年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	同会社に児童発達支援事業所があり、未就学児から高校生まで途切れることなく一貫性のある支援の提供が出来る。	事業所間の引継ぎをしっかりと行い、子どもたちの各々の障がい特性への理解と成長に合わせた課題に対応している。 また、慣れたスタッフが在り、保護者や子どもたちの環境の変化への不安緩和に繋げている。	今後も、子どもたちの障がい特性や対応の引継ぎにしっかり取り組み、全スタッフに周知していく。
2	集団活動やアトリエ活動、月に一度の外出イベント等、様々な活動を提供している。	活動に飽きがこないように、毎月の活動プログラムを考案している。	地域のイベント情報にも目を向け、地域の方々との繋がりも作れるような活動も立案していきたいと考えている。 子どもたちの興味のあることをリサーチし、プログラムの考案に努めていく。
3	月に1回必ず防災訓練を取り入れております。避難経路の確認や防災グッズ、利用児童全員分のヘルメットを常備しております。	月1回の防災訓練では、避難訓練記録書に記録する事で職員間での振り返りや今後の改善点を話し合う機会を設けております。また、ヘルメットの着用練習や避難経路の確認、防災グッズ内容の確認等を災害や非常時の状況別に訓練を行っております。	常勤だけではなく、非常勤の職員にも共有出来るように確実に書類に目を通していただきます。 利用児童に応じて職員の配置や役割を毎日確認するよう心がけております。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	言語聴覚士や作業療法士といった専門職の有資格者が少ない。	スタッフ間で話し合い、子どもたちの発達支援・療育方法を考えているが、今後はより専門性の高いサービスの提供が必要になると考えられる。スタッフのスキルアップや専門性の高い知識を身につけていく必要がある。	障がいのある子どもの発達障がいについての理解を深める研修を積極的に受講できる体制作りをし、資格習得時のサポートも行っていく。
2	高校卒業後の就労支援への繋がりが弱い。	スタッフの卒業後の就労支援事業所や生活介護事業所への知識や情報が薄い。	就労支援事業所や生活介護事業所との事業所間での繋がりを作っていく。 また、中高生に対して、将来の就労に向けての自立の為の支援を考えていく。
3			